



区民運動会 9月 27 日  
九州情報大学相撲部の女性部員



## 【郷土芸能特集】

11月 8 日、第 30 回国民文化祭・かごしま 2015 の一環として開催された下飯島会場に郷土芸能として西山地区からシアノーノーとノスカイが参加しました。また、11月 10 日、大帶姫神社秋季大祭に 同じものが出されました。特集を組んで紹介します。





### 大帯姫神社奉納舞について（中村周二投稿）

#### 大帯姫神社奉納舞

##### 1. 修羅道の太刀の音

あさきみとう  
朝帝党の エイ！

親皇死一て エイ！

敵を打つなり、

能登の守教経党や ヨーイ

者々しーて 手並みは見せるな

思いは沈む 壇ノ浦の

壇ノ党の旗頭 ジャハ！ソーリヤ！

ハンヤオイオイ！

##### 2. どんどん転びの関所の石は

ドンと押せ ドンと押せ

どこに留まろうと

先は 知れぬ

セーセドンゴドン そりやまたドンゴドン

ジャハ！ソーリヤ！ ハンヤオイオイ！

##### 3. 三段目の小夜衣に

師直が 腹を 立て 塩治判官

短気をおこして 短刀振り上げた

加古川本蔵がしっかり抱きしめた

ジャハ！ソーリヤ！ハンヤオイオイ！

##### 4. 船の櫓に 小松葉植えて

ジャンジャハ ジャンジャハ

松の荒瀬で 大阪まで

色里の振袖 気もジャンジャ ハラヨ

ヨイヨイ ヨーイ ヨカヨカ

オイヨカ オイハ

ソーリヤ！ハンヤオイオイ！

鐘は 鳴るかよ 撃木が鳴るか  
ジャンジャハ ジャンジャハ  
鐘は 撃木と合いで鳴る  
色里の振袖 気もジャンジャ ハラヨ  
ヨイヨイ ヨーイ ヨカヨカ  
オイヨカ オイハ  
ソーリヤ！  
ハンヤオイオイ！

#### 【新解釈】

奉納舞の歌詞については、諸先輩が色々解説されているが、私も、私なりの考えを記してみる事にした。

1番 源平の壇の浦の合戦後、平家の落人たちの気持ちを歌にしたものであろう。「しやのうのう」と今日唄われているが、この部分は修羅道（しゅらどう）のではないかと考える。しゅら場、戦場での刀の音（こえ） 安徳天皇が入水された後、平家一門の中で平清盛の甥で、義経の八艘飛びの相手である能登の守教経を中心に敵打を考えた気持ちを歌詞にしたのではなかろうか。

2番どんどんころびは、歌舞伎 勘進帳の一場面、義経・弁慶主従が、加賀の国、安宅関で、富樫左衛門に詮議をうける様を歌詞にしたものと思う。

3番は、赤穂浪士をモデルにした、仮名手本忠臣蔵、三段目、足利館けんかの場権力を振りかざす高師直（吉良上野之介）に塩治判官（浅野内匠頭）が切りかかり、加古川本蔵に抱きとめられた場面をを歌にしたものと思う。

4番船の櫓は、色里での遊びを歌にして奉納舞に入れて、厚みをもたせたのではないかと思う。